

やよい

第100号

平成24年7月27日
編集兼発行
弥生公民館
広報部
金沢市弥生1-29-13
TEL 241-1329

主だった記事

館報やよい創刊

昭和48年3月10日創刊

1973年

公民館とは何か

コミュニティーセンターとしての役割 1981年

若い世代からみた老人感

65歳以上が9.9%

1989年

真新しくなった公民館

複合館(公民館・児童館・老人憩いの家)の誕生 1990年

さよなら! 气象台

明治41年5月~平成3年10月

1991年

館章制定 (シンボル)

松田良三氏の考案

1992年

健康は宝物、あなたも歩きませんか

幸せは健康から

1993年

三世代交流

出合い、ふれ合い、学び合い

1994年

本格的な高齢化社会(14%)に対応

ライフスタイルを変えよう

1995年

さくら公園 開園

みんなの公園誕生

2000年

公民館50周年

2005年

やってみよう! 「省エネ家計簿」

CO₂削減チャレンジシート

2009年

館報奨励賞受賞(金沢市)

第47回金沢市公民館大会で表彰

2010年

弥生から被災地にエールを送る会

みんなで手をつなぎ

2011年

館報は100号に到達しました。

既刊の館報を振り返って見ますと、その年代、時期に応えるように、読者の関心を頂けるようなシリーズもの(弥生の歴史、くらしの移りかわり、弥生の今昔、社寺・樹木、わがまち)など古老(年輩)の方々の記憶や古文書を受け、貴重な意見も組み入れ、また順次増えた各サークルの活動内容も適宜取り入れ、充実した館報となりました。

館報やよいは昭和四十八年三月十日に創刊され以来四十一年を経過しました。この間、各層を問わず多くの方々から熱意に満ちた投稿をいただき、百号を迎えました。発刊当初から弥生の歴史を保存しようと記録紙としての考え方で継続してきましたが、ここ数年前から誰もが親しみ、目を通せるようにとカラー化し写真も多用して来ました。

①美しい日本語 ②臨場感の伝わる豊かな表現 ③周囲への気遣い ④高齢化社会、環境問題など、先を見越した事業説明 ⑤モノクロ写真による大胆な構成と文章 ⑥全体に伝わる優しさ、温かさ、緻密さなど、館報に携わった校下の方々、広報の方々に感謝の意を表します。少しでも諸先輩に近づけるよう、微力ながら我々も頑張ります。

さて百号は、新たに三テーマの特集を企画しました。

- ・金沢气象台とさくら公園
- ・三大事業 今と昔
- ・地域との連携(学校と公民館)

これからも皆様から投稿、ご意見をいただき、更なる広報紙にしたいと願っております。

(広報部一同)



ジャンボオセロゲームに夢中の児童たち

弥生 さくらまつり

H24.4月8日(日) / 10:00~13:00



ようやく春の陽ざしとなり、桜のつぼみも開花までもう一息ほどに膨らんだ四月八日(日)、さくら公園にて『弥生さくらまつり』が開催されました。参加人数二百人、児童館バトントワリングなど各種団体の催しがありました。

子供達は、ジャンボオセロゲームで元気に走り廻って遊び、年配の方々はピーナッツつまみやピンポンゲームを楽しんでいました。又、防災意識も忘れないでと、防災ずきんも販売し、「東京の娘に・・・」などと購入される人もいました。



子どもたちが躍動するバトントワリング

「まだかまだかと桜咲く日を待ち望む私達の想いは、震災被災地の一日も早い復興を願う気持ちと通ずるものがあります・・・」との山本館長の挨拶でオープニング。弥生児童館の元気な子供達が、バトントワリングや一輪車、コマ廻しの演技を、華やかに軽やかに披露し、たくさん拍手が送られました。

春よこい!早くこい!



楽しい福祉のゲーム

野点席には、桜の木の下での野点席の中に、「弄花香滿衣(花弄すれば香衣に満つ)」の短冊と季節の花が活けられ、赤いもうせんに腰を下ろした人々が、春の芽生えを思わせる淡緑の茶菓と共に、ふくいくとしたお茶をゆつくりと楽しむ姿がみられました。



具たくさんめった汁は大好評

桜餅、花見団子などの和菓子やシュークリーム、ラスク、百個のおにぎり、二百杯のめった汁の販売も好評で、予定時間の三十分前には完売。春のさくら公園は、多くの人々で賑わいました。

まだ見ぬ春
ずっとまっけます!



やわらかな陽ざしの中で



さくらまつり 1週間後に満開

平成 24 年度 公民館を支える各種団体と皆さん (敬称略)

金沢市教育委員会
生涯学習課

各種団体

各種団体
弥生校下町会連合会
弥生校下社会福祉協議会
弥生校下民生・児童委員協議会
弥生校下自主防災会
弥生校下防犯委員会
弥生校下保護司会
弥生児童館
弥生校下ボランティア協議会
弥生交通安全推進隊
弥生小PTA
弥生校下少年連盟育成委員会

運営審議会

役職	氏名
委員長	石原多賀子
委員	相川 久嗣
〃	奥村 回
〃	北川 善昭
〃	酒井 守三
〃	徳山 慎一
〃	廣島 八郎
〃	松坂浩一郎
〃	松村 昭一
〃	山岸由紀子
〃	山下美奈子
〃	山本 悦子

企画委員会

役職	氏名
委員長	山本 茂
副委員長	十握 周作
委員	安藤 利得
〃	大坪 六秋
〃	嶋田 尚蔵
〃	竹田 浩
〃	田辺 一幸
〃	能村 良
〃	東 晴美
〃	松田 啓
〃	山本 悦子
〃	吉野 更二
〃	渡辺 浩志

公民館職員

役職	氏名
館長	山本 茂
副館長	能村 良
	田辺 一幸
	大坪 六秋
顧問	松下 良
	荒木 郁雄
主事	遠藤 和宏
事務員	嶋田 陽子

弥生公民館

振興協力会

金沢市から各地区公民館の管理者として指定された団体です。市内60の地区公民館にそれぞれ1つずつ存在し、公民館の管理・運営について責任をもつ団体です。

企画委員会

各事業専門部が企画、立案する行事計画を受け公民館の運営が円滑に行われるための協議をする。

専門事業部

総務部	環境部
少年教育部	視聴覚部
さくらセミナー/女性学級	広報部
みどり学級	体育レクリエーション部
公民館委員(町会選出)	スポーツ推進委員
公民館委員(館長推薦)	

公民館職員

運営審議会

館長の諮問に応じ、各種事業について調査審議します。

公民館委員 (館長推薦)

事業部	氏名
総務部	田辺 一幸
	宮岸 喜正
	小林 務
	小田 喜作
	小林美智子
	中川 義浩
少年教育部	中村 衛
	渡辺 浩志
	安藤 利得
さくらセミナー/女性学級	黒田 悟
	東 晴美
	中川 郁江
	松永 香代
みどり学級	村木 伸子
	竹田 浩
	嶋田 和子
	町田 好美
	嶋田 陽子
視聴覚部	西 駿介
	吉野 更二
	奥出 和紀
	野村 依正
	野村 博子
小坂 皓二	

公民館委員 (町会選出)

事業部	氏名
体育レクリエーション部	松田 啓
	大坪 六秋
	中川 博夫
	小高 明男
	三国 守
	端保 誠二
	宮下 雅彦
	三国 範子
	森 一夫
	中村外茂子
スポーツ推進委員	村上和一郎
	岩見 一志
	山本 泉恵
	丸岡 知子
	嶋田 尚蔵
環境部	柿 幸子
	瀧上 彰子
	橋田 道子
	茂村千鶴子
	中田 久子
	小林美智子
	畑 明美
	酒井 悦子
	小西 文子
	正見 玲子
広報部	藤本 瑛子
	遠藤 和宏
	南 多門
	東 晴美
	室 郁子
濱田 修	
嶋浦 淑子	

	体育委員	文化委員	社会体育委員
泉町交友会	平野 正憲	嶋田 律子	河内 昌宏
泉新町第一町会	剛谷 佳克	上出 洋子	泉屋 太郎
泉新町第二町会	中田 和幸	—	上出 栄一
泉旭町一丁目町会	今村 恵子	千田 幸子	二木 陽一
泉旭町二丁目東部町会	福田 洋一	額谷佐恵子	黒田 真吾
泉旭町二丁目西部町会	市村 達也	木村由美子	重田 依子
泉旭町三丁目町会	吉岡美智子	蓬沢 静子	市村 京子
生和会	石坂 佳彦	藤田可予子	澤田 雅春
富樫町会	野村 吉和	坂本 朝子	松田 恭典
泉が丘致芳会	本部 隼也	高岡 庸郎	石坂 佳彦
泉が丘愛香会	向井 守	林 雅子	野村 吉和
弥生が丘町会	木谷 直宏	中寺 瑞枝	紙谷 真
弥生ヶ丘南町会	山本 泉恵	濱田 修	大島 弘之
東部弥生町会	村井 克彦	東 卓司	喜多 剛士
中部弥生町会	西村 和也	村田 昌代	山科 成司
弥生上丁町会	千田 純子	葛城地都子	佐久間彩子
弥生第一町会	田中 恵一	村中千賀子	久保 春男
芦中町町会	長谷 秀一	中川貴美恵	北川 進
金沢大学弥生東部町会	入口 康彦	分部 博	西村 和也
六斗林一丁目親誠会	地野 淳	木村 満	中村 賢司
有松町会	役山 啓子	米尾 香子	竹越 章
泉野町三丁目町会	竹田二三恵	斉藤 恵美	酒井 誠一
南が丘町会	長島富美子	本多 明	福間 剛士
泉が丘平成会	鈴木 明子	浜崎 克夫	地野 淳
泉が丘親成会	石上思我外	古地早都美	高田 豊子
竹の子町会	—	納谷 清美	石井理華子
エスト泉が丘町会	石坂 隆直	—	中村 衛
泉が丘さくら町会	真山 尚実	—	山田小百合
			古畑 徹
			木藤美奈子
			山際 康之
			野田 裕子
			石坂 隆直
			豊田 正博



平成24年度 弥生公民館 予算・事業計画について

1. 重点目標

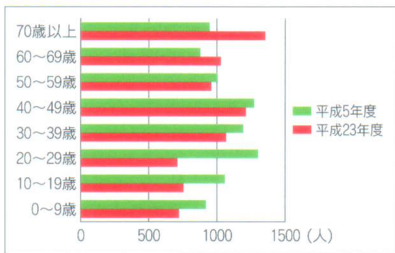
- ① 公民館主体事業の選択と集中
- ② 高齢化と少子化の対応
(*) “弥生校下の人口変化”を参照ください
- ③ 三大事業の改善
- ④ 公民館委員とスタッフの強化と拡大
- ⑤ 公民館設備、建物の修繕

弥生校下の人口変化

平成5年度と23年度の比較

(単位:人数)

	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	合計
平成5年度	921	1060	1303	1194	1274	1006	879	948	8585
平成23年度	723	756	712	1068	1214	960	1030	1355	7818



【まちぐるみ推進活動
ブックより】
弥生校下もこの20年
間で年齢別の人口が
高齢化、少子化に変
化しました。
この時代に併せての
事業計画が必要とな
りました。

3. 具体的施策

(事業)

- ☞ ものづくり、むかしのよさを再現
(弥生のよさ、技術をお持ちの方の力を活用)
- ☞ 周囲(金沢、石川、他県)の良さを学び、真似し、加工し、新しい事業とする。
- ☞ 各種専門事業部の更なる活性化
(グリーンカーテン化、節電対応などの環境対策)
- ☞ 弥生ホームページの開発
- ☞ 三大事業の新プログラム化(新旧の催し物の取込)

(スタッフ)

- ☞ 企画から運営・管理にリーダーシップを発揮する人を育てる
- ☞ 挑戦意欲のある方、失敗を恐れない方を募集
(老若男女を問わず)

(設備関連)

- ☞ バリアフリーの実現(エレベータおよびトイレ工事)
- ☞ 公民館部屋の利用形態の見直し
- ☞ 無駄の削減、不要品の廃却

2. 24年度 予算計画

(単位:千円)

	平成24年度予算	平成23年度決算	
歳入	金沢市委託金	10,687	10,681
	団体負担金	2,625	2,574
	貸館収入	1,500	1,318
	事業収入 他	2,500	2,206
	予備費	435	701
	計	17,747	17,480
歳出	事業費	6,400	6,322
	人件費	6,377	6,377
	管理費	4,570	4,347
	繰越金	400	434
	計	17,747	17,480

(※) バリアフリー工事は含まず



24年度が動き始めました。

◎環境部 今年度の活動への思い

(嶋田尚蔵)

電力不足は何年続くのでしょうか。報道では、政府の新エネルギー戦略初会議で、今後「創エネ」「畜エネ」「省エネ」の3テーマで実用化を進めるといふ。当部は、H20年から、「省エネ」を市の指導で実施しています。化石エネルギー使用によるCO₂排出量の把握と削減先を探っています。通年では、エアコンの適温運転、ガス、灯油、ガソリンの抑制、緑のカーテン等身近な対象は驚く多さですが、気候の急変には敵いません。特に冬です。大震災後のH23年度は、頑張って化石のCO₂排出量は1人・年1,400kg前後でした。当部では、体験、現場研修講演、催事等への多くの方が参加されることをお待ちしています。



今年も“緑のカーテン”がはじまりました。(H24.7.3撮影)

◎視聴覚部 平成24年度の活動について

(吉野更二)

本年度の活動は会員22名に増加となり、写真教室年6回、写真展示会を2回開催致します。特に昨年度の3月にラプロ7階アートシアターで行った写真展は200名を超える見学者があり、会員一同大きな刺激を受けました。本年度は3月にフジカラーギャラリーで開催いたしますが、会員の作品は更に向上していると信じています。

年間スケジュール	講師
4月22日 第1回写真教室	朝倉英夫氏
6月24日 第2回写真教室	朝倉英夫氏
8月19日 第3回写真教室	朝倉英夫氏
10月28日 第4回写真教室	未定
10/1~31	写真展(芦中郵便局)
12月9日 第5回写真教室	未定
2月24日 第6回写真教室	未定
3/21~27	写真展(フジカラーギャラリー)



(写真は23年3月ラプロシアターでの写真展の様子です。)

◎少年教育部 『クリーンビーチ・石川』に参加して

5月27日(日)6時15分晴天の専光寺海岸に、弥生校下の少年連盟、親子、そして公民館委員約100名が集合。軍手、長靴の完全武装で、ゴミ袋を持って、一生懸命海岸の清掃をしました。

朝の太陽が昇っていくにつれ、汗の量が増えましたが、綺麗になった砂浜と青い海を見ると、なんとも言いえない清々しい気持ちになりました。新聞によれば、延べ1万4000人が参加し、沢山の人が力が併せれば、さすがとあらためて感じたクリーンビーチ・石川でした。

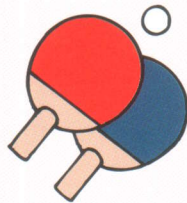


クリーンビーチ・石川

◎体育レクリエーション部 卓球クラブの設立を目指して (松田 啓)

弥生校下の皆さんの健康づくりとストレス解消に卓球クラブを設立したいと思います。

屋内スポーツとしていつでも誰もが手軽にでき、また全身を使いスピード感のある卓球は魅力あるスポーツと言えます。特に、高齢者にはラージボール卓球が最適です。今秋には教室を開催し来春の設立を目指します。他のスポーツでも皆さんのご意見をいただき弥生校下が元気でより良い街になるようお役に立てればと願っています。



頑張れ!! 弥生スポーツ

(遠藤 和宏)

(a) 城南地区公民館 シルバーソフトボール大会

4月29日(日)専光寺ソフトボール場で、城南ブロックシルバーソフトボール大会が開催されました。弥生公民館からは15名の選手が参加。毎日曜日の早朝練習の成果を発揮し、第三位になりました。目標はあくまで優勝であり、「来年こそ」の決意がありました。



(b) 城南地区公民館 トリムバレーボール大会

7月1日(日)、金沢市中央体育館にて、城南ブロックトリムバレーボール大会が開催されました。城南地区6館の選抜選手、スタッフ計130人が朝8時に集合。

弥生は急造チームで惜敗。久しぶりに夢中になり楽しい反面、筋肉痛と悔しさが残りました。来年こそ待望の1勝を!

【結果】優勝：中村町公民館
準優勝：城南公民館
第三位：野町公民館



励まし頑張る選手たち

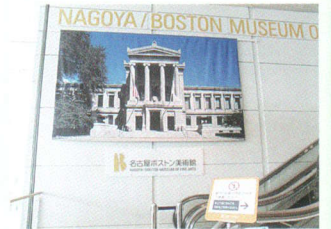
◎高齢者教育部(みどり学級) 今年度の活動への思い (竹田 浩)

今年度のみどり学級は100名を超える会員登録を頂き、HAB牧野慎二アナウンサーの開級講演でスタートしました。今年も7回の予定で今までとは違う分野を開拓し、楽しく学び、会員の皆様と更に親睦をはかっているようお願いしています。

年間スケジュール		参加
4月11日(水)	開級講演 HAB 牧野慎二氏 「心をつかむ話術」	82名
5月24日(木)	日帰りバス研修旅行 「ボストン美術館と熱田神宮」	45名
6月11日(月)	ランチタイムコンサート 「能とパイプオルガンのコラボレーション」	55名
10月	施設見学 能登方面	
10月	学習講座 「高齢者のための住まいづくり」	
11月	健康講座 「つばと健康」	
2月	閉級講演 金沢大学名誉教授 鴨野幸雄氏 「優しい法律のはなし」	



心をつかむ話術 (4月11日)



ボストン美術館 (5月24日)

◎さくらセミナー これからの行事

(東 晴美)

4、5、6月の企画は好評にうち終了しました。見て聞いて体験すると、新たな発見があり、とても楽しいものです。今後もお誘いあわせの上、是非参加ください。

年間スケジュール		参加
4月21日(土)	テーブルコーディネートを学ぶ	21名
5月12日(土)	ノルディックスキー風歩行 (その2：大乘寺丘陵公園)	18名
6月15日(金)	薔薇観音 視察研修旅行	40名
7月19日(木)	簡単に作れる巾着小銭入れ	
8月31日(金)	美味しい紅茶の入れ方	
10月下旬	視察研修旅行(天の橋立)	
1月下旬	テレビ報道の捉え方(石川テレビ)	
2月下旬	閉級式 お酢の効用(今川酒造)	



指導を受けたテーブルコーディネートを学ぶ (4月21日)



大乘寺丘陵公園でノルディックウォークをする参加者 (5月12日)

金沢気象台とさくら公園

掲載記事で我々の記憶の中に強烈にある一つには、金沢気象台があります。ひとときわ際立った建物（気象台）、生物、虫などのなつかしい思い出がよみがえります。平成八年には気象台跡地がさくら公園として

オープンし、町民の憩いの場、児童館を始めとする子どもたちの遊び場として、十分利用されています。

●では、金沢気象台とさくら公園の歴史を当時の館報から、覗いてみましょう。

さようなら！金沢気象台

平成三年 七月号
(宮 一郎様 執筆)

気象台は、広坂から現在地に移って以来八
十三年、長い間、地域の皆さんに親しまれてき
ましたが、今秋、駅西の合同庁舎に移転しま
す。そこはかとなく郷愁を感じるのは、気象庁

生活の半分近くをこの地に勤めた私ばかりでは
ないようです。戦後間もなく赴任した当時の気
象台は、北陸病院までほとんどイモ畑で、南端
国道のポプラ並木と赤レンガの風測塔が象徴的
でした。

何しろないないづくしの耐乏時代でしたが、
生物だけは豊かで、蛭やひばり、つばめ、との
さま蛙などなど気象庁で定める生物季節観測の
全部が気象台構内で居ながらにして観測できま
した。

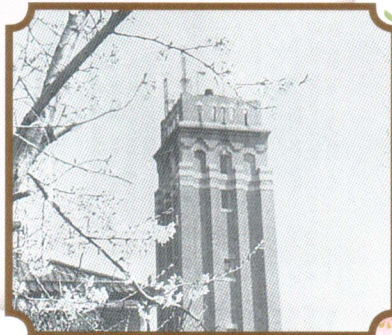
昭和二十五年頃からは、毎年夏休みに弥生
小学校や泉中学校の子どもたちと野外観測に出
かけるのが恒例となりました。倉ヶ岳や医王山、
卯辰山、内灘砂丘などに出かけ、自分の手で

風を測り、湿度を計
算し、ぐんぐん下が
る気圧計を見つめま
した。その生き生き
した子どもたちの目
は、今も印象に残っ
ています。

高度成長期に入っ
てからは次第に生物
は少なくなり、観測

も気象台構内と限定せず、市内でよいというこ
とになって、種目も縮小されました。しかし、
可憐な生物たちは環境の変調を人間よりいち早
く知らせしてくれる大切な環境指標で、だからこ
そ私たちは少なくなった自然の命を大切に見守
る必要があります。

基準校の務めを終えた樹齢六十年の大桜
せめて切り倒されなく枯れ果てるまで、弥生の
皆さんとともに見守ってやりたい気持ちです。
今後とも、気象台は離れても、自然に感動
するゆたかな日々をお送りくださいますよう、
本当に長い間、ありがとうございました。



弥生に市民の憩いの場 さくら公園 喜びの開園式

平成八年 十二月号

平成八年四月に仮オー
プンしたさくら公園が消防会
館の施工に合わせて、十一
月二十四日、公園広場で市
職員や地元住民多数が参加
開園式を挙行し、その誕生
を祝いました。気象台の敷
地内にあったソメイヨシノ
もそのまま保存され、菊桜、
シダレ桜二十本等、二千五
百本の植物を移植しました。
また、彫刻などを三か所に
設置するスペースも設けて
あります。芸術と自然環境
を生かしたこの地に相応し
い、素晴らしい公園になり
ました。

七町会長
が集まり
協議賛同
を得て、
弥生校下
町会連合
会に具申
しました。
審議の結
果全会一
致でうねりとなって気象台
跡記念公園（仮称）設立を要
望することとなり、陳情書
を市行政各機関に提出の運
びとなりました。その間、跡
地が駐車場、老人ホーム、消
防会館の設置が取り沙汰さ
れ、公園の確約も得ず心配
したものです。しかし、う
よ曲折の末、こうし
て開園式にこぎつ
け誠に感無量のも
のがあります。
さくら公園はみ
んなの公園。さく
ら公園に入ったら
貴方が主役です。



さくら公園の元気な子供達 (H24.7.2 撮影)



三大事業 今と昔

公民館三大事業は社会体育大会、文化祭、成人式です。いずれも、弥生校下の多くの方々が集まる催しです。近年、社会体育大会には2000人が集まり、成人式もホテルで開催など、様変わりしてきました。その様子の今と昔を館報の記事と写真から、編集しました。

* 社会体育大会 *



S62.9.27

昨年、第五十回を迎えた歴史ある社会体育大会。台風等の荒天が続いたため、平成十七年から三年間は秋開催を春に移行しましたが、再び九月の開催に戻りました。競技では、綱引きやムカデ競走は姿を消し、ゴミ分別競走、自主防災リーダーが登場するなど、時代背景が伺えます。昨年からは懐かしい大玉ころがしやビン釣りが復活、又五十回記念のアトラクションに、泉町交友会



H9.9.21



H23.9.25



青年部と子供達による見事な和太鼓演奏が披露され、秋晴れ青空のもとに集まった校下二千人の人々から大きな拍手が送られました。

* やよい文化祭 *

毎年「婦人会まつり」を開き、食堂と不要品販売を行っていた「弥生婦人会」が、昭和六十三年から公民館文化祭の食堂を担うことになり、それまでの式典が主であった文化祭が、賑わうようになりました。カラオケクラブの発表や、体力テストも行われました。平成四年には、当時の松下良館長が、「見直そう加賀野菜」の講演をされます。

平成十六年から七年間は弥生小PTAと共催で行い、地域の方々が大きな白とキネ？でついた柔らかかなお餅の配布に長蛇の列ができ、三世代交流の場となりました。近年は、オープニングセレモニーに、泉中生徒の読み聞かせや吹奏楽部の演奏、父兄のいずみコーラス、マジックショー、児童館の小学生による詩吟、バトン、獅子舞など多彩な行事が行われます。



S62年頃の様子



躍動する児童館の子供たち (H23)



昔ながらの餅つき (H16)

* 成人式 *

二十年程前には百名近くの出席者があり、公民館ホールを会場に開催。祝賀会は心づくしの手作りオードブル、雪のときは早朝から除雪、会場準備から片付けまで全てを地域の方々の協力で行っていた成人式も、少子化の影響で五十名前後の出席となった昨今。三年前からはホテルが会場となり、華やかな雰囲気です。式典では、弥生小出身で活躍中の先輩が温かく、力強く激励し、祝賀会ではバイキング料理を食べながら楽しそうに語り合い携帯カメラで写し合う二十歳の笑顔が輝いています。



近年の成人式、祝賀会



弥生公民館 (S63.1.15)

地域との連携 学校と公民館

弥生公民館は昭和二十六年に設立以来、社会教育の場として、校下の方々、学校との連携により発展してきました。松下 良 元弥生公民館

館長、澤田和子 元弥生小学校校長 両氏の館報執筆を引用させていただきます。『地域との連携』について、昔を覗いてみました。

弥生小学校正門左奥に暁烏文庫の書庫がありましたが、文庫の蔵書は金沢大学図書館に移されることになり、昭和二十六年十月、書庫の跡に弥生公民館が創立されました。

その後改築工事を施し独立公民館として発足し、社会教育の場、住民の連帯意識や教養の向上、社会福祉や青少年の健全育成などに重要な役割を果たしてきました。これらの活動を強力に推進出来ましたが、公民館設置に学校当局の深いご理解とご協力、ご配慮の賜で、六十年前から学校と公民館は強い縁で結ばれてきました。

建屋は三十有余年の経過と共に



今後の公民館のあり方について (松下良 元館長)

目的のために地域住民に利用され、賑わっております。高齢化時代ですから世代間交流事業や、花いっぱい運動、生活環境シンポジウムなど生活直結型の事業も実施し、みなさまに親しまれ、喜んで参加して頂ける事業も推進して来ました。』

(館報 昭和六十年十一月号より)

澤田和子元弥生小学校校長は、『地域社会の相互の確固たる連携とバランスよい教育力の充実を唱えられ、地域住民の方々の協力を得ながら、恵まれた環境の中から地域素材の掘り起こしをし、環境(人、自然、地域)と積極的に関わり合いを持つことを大事にしたい』と

も述べられています。(館報 平成九年十二月号より)

強い絆は、公民館と弥生小学校PTAが地域と一体となって開催された文化祭に代表されます。「やよい文化祭&フェスタやよい」と銘打ち、バザーや諸行事を展開。元気な小・中学生や幼児連れの若いパパママ、お年寄りや熟年夫婦と、幅広い年齢層の人たちが訪れ、子供たちと地域のみなが同じ目標を共有することで一体感を増しています。

十年前の平成十四年三月には、弥生公民館五十周年を記念して式典を挙行し、共に喜びを分かち合いました。

その後公民館では弥生の誇る自然と人情を基盤として明るく、いきいきとした活動でありたいと毎年事業を進めています。

時代と共にあり、 未来の為にあり、 弥生会館バリアフリー工事

弥生公民館館長 山本 茂

バリアフリー新法と呼ばれる法律が

来たのは平成十八年。公共の施設などでは段差の解消やエレベーターの設置が急ピッチで進められました。この法律の最初には『我が国においては、世界のどの国もこれまで経験した事のない本格的な高齢化社会を迎え、今後更なる高齢化が進展すると見込まれており、高齢者の自立と社会参加による、健全で活力のある社会の実現が求められている』とあります。弥生の地においても加齢度的に高齢化が進んでいる事はデータが示しています。その様な中で複合館(公民館・児童館・老人憩いの家)である弥生会館のエレベーター設置を含むバリアフリー化への話がでたのは一年前でした。しかしながら当初は設置・改修の費用やランニングコストを考え躊躇していました。その思いを払拭したのはバリアフリー化を望まれる多くの方の声でした。自身がそのような方々の声に耳を傾けてこなかった事に対して大いに反省をしました。バリアフリー化に対しては金沢市からは工事費用の四分の三を負担頂けますが、残りは地元負担となります。しかし、その地元負担はこれからの弥生地域に対して決して『負担』ではなく、余りある有益な事業であると確信をしています。